

ふるさとふちゅう

【第23回】府中町で体験、四国お遍路（8）

道隆寺（6）火災からの復興

再発見

大内氏の攻撃で焼失した道隆寺はどのように復興されたのでしょうか。現在は確認できませんが、『芸藩通志』には本尊薬師如来坐像を納める厨子の背に「天文八己亥（1539）三月大檀那平朝臣白井松千代丸寄進」、台座に「永禄八年乙丑（1565）七月十五日 大檀那藤原広秀」と朱書があると記されています。道隆寺炎上の期日には諸説ありますが、前回説明したように大永年間であれば、厨子・台座は炎上後のものです。出張城・道隆寺が攻められ、最後まで抵抗した白井越中守達は自刃して滅亡しますが、この間に大内方に付き、更に毛利氏に水軍として従う白井一族がいます。白井松千代丸はその一人なのでしょいか。藤原広秀は阿曾沼広秀で安芸国安芸郡世能荒山（現広島市安芸区中野）の鳥籠山城を本拠地と

する武士です。以前は大内氏配下でしたが、永禄年間には毛利元就に属しています。戦火を逃れた本尊のために早い段階から地域の有力者が厨子を寄進し、道隆寺の復興が始まっています。

その後、安芸国の支配は関ヶ原の合戦後に毛利輝元から福島正則に、さらに元和5（1619）年には浅野長晟に替わります。毛利氏は神社を大切にしましたが、福島正則は検地を厳密に行い多くの神社領を没収します。道隆寺も困難な時代であったでしょう。

道隆寺上に古墓群があります。墓碑の風化で文字の多くは読めませんが、『安芸府中町史第4巻』にかつて調査した報告があります。その中に「中興開山 俊尊和尚 元和7（1621）年6月13日（中略）第十一世 智空上人造立之」と読める五輪塔があるとのこと。智空上人

は文政11（1828）年に72歳で亡くなった11世住職で、赤羽根八十八カ所を整備するなど道隆寺の興隆に尽力した僧です。その人物が道隆寺の歴史の中で俊尊上人を中興開山と讃えたのは、荒廃した道隆寺の復興に関わった人物だったからでしょう。俊尊上人は元和7（1621）年に亡くなっています。年齢は分かりませんが、戦国時代から江戸時代初期までの激動の時代に道隆寺を任せられ、復興に尽力したにちがいありません。



道隆寺上の古墓群

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

健康に役立つ
情報を紹介

朝パッ君の

耳より情報

アルコールについて
一緒に確認しよう！



11月10日（木）～16日（水）

アルコール関連問題啓発週間

固健康推進課 ☎286-3257

平成26年6月1日に施行されたアルコール健康障害対策基本法において、国民の間に広くアルコール関連問題に対する関心と理解を深めるため、毎年11月10日から16日までを「アルコール関連問題啓発週間」と定めています。

適度な飲酒とは

アルコール健康障害は、本人の健康の問題であるだけでなく、その家族への深刻な影響や、飲酒運転などの重大な社会問題を生じさせるおそれがあります。節度ある適度な飲酒を心がけましょう！

◆節度ある適度な飲酒は、1日平均純アルコールで20g程度とされています。また、女性や高齢者、少量の飲酒で顔が赤くなる人は、これより飲酒量を少なくすべきであると推奨されています。

1日平均純アルコール量を計算してみましょう

あなたの飲酒量はどのくらいですか。
下の表を参考に計算してみてください。

酒類	度数	純アルコール量
ビール（350ml）	5%	14g
日本酒1合（180ml）	15%	22g
ハイボール缶（350ml）	7%	20g
焼酎1合（180ml）	25%	36g
ワイン一杯（120ml）	12%	12g

※1日平均純アルコール量が60g以上程度の人は、多量飲酒者です。